

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こども療育センターきりと「さくらんぼ」		
○保護者評価実施期間	令和 7 年 2 月 1 日 ~ 令和 7 年 3 月 31 日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	13人	(回答者数) 13人
○従業者評価実施期間	令和 7 年 2 月 1 日 ~ 令和 7 年 3 月 31 日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5人	(回答者数) 5人
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7 年 6 月 1 日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別寮いや集団療育を通してお子さんひとりひとりを、専門職（臨床発達心理士・作業療法士・言語聴覚士）とともに発達を促しています。	個別療育での取り組みを、専門職のアドバイスを受けながら集団療育に取り入れています。	専門職からのアドバイスを受け、お子さんひとりひとりにあった療育を提供していきます。
2	子育てサロンを毎月1回開催し、保護者同士の交流を図り、先輩保護者との交流や必要に応じて勉強会を行っています。	事前に保護者から話題にしたいテーマをお聞きし、保護者同士で話し合えるようにしています。	専門職からこどもの発達についてお話をしていただくなど、保護者向けの勉強の機会をも受けていきます。

3	手作りの昼食を提供しています。お子さんひとりひとりの食事への課題をみつけ、いろいろな食事を目で見え触って食べようと思えるように促しています。 月1回、お弁当の日を設け、自宅から持参していただきます。お子さんが食べられるものをお弁当に入れてもらうようにしています。	提供した昼食の中から食べられるものを、お子さんと一緒に見つけています。それでも食べられない場合は、栄養士と相談しながら食べられるものを提供しています。	お子さんが食べることに興味が湧くように、環境を変えることや食器をかえるなど工夫をしています。
---	---	--	---

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所内や地域の公園への外出は毎日行っていますが、それよりも遠い所へのお出かけは実施できませんでした。	事業所内での個別療育や集団療育に重点を置きすぎたためにお出かけする機会を作ることができませんでした。 社会参加に向けて検討をします。	コロナ前に実施していた父親参観や芋ほり、親子で日々の活動に参加していただく機会をさらに作っていきます。
2	親子で参加するものや親子で触れ合い遊びを提供する機会が少なく、実施できませんでした。	事業所内での個別療育や集団療育に重点を置きすぎたためにお出かけする機会を作ることができませんでした。 社会参加に向けて検討をします。	日々の活動に保護者の方がいつでも参加できるように環境の工夫をして、提供をしています。
3			